

環境情報の発信と地域と連携した活動

日々行なう環境活動についての情報を双方向なものにし、さらなる活動を推進していくため、さまざまなメディアやイベントを通じ、みなさまとの“接点”を増やしていきます。

環境情報の発信

多様なメディアによる情報発信

環境と社会へ対するJR東日本の取り組みを、正確かつわかりやすく伝える「環境報告書」(2002年から「社会環境報告書」)を、1996年から毎年継続して発行しています。またグループ会社では、2004年からジェイアール東日本商業開発(株)が環境報告書を発行しています。

より多くの方へ環境情報を発信するため、お子さま向けの小冊子『おーきくなーれ、エコのきもち。』や、社会環境報告書ダイジェスト版を発行しているほか、2005年度からは社会環境報告書の抜粋を新幹線車内情報誌『トランヴェール』に掲載し、多くのご意見ご感想をいただいています。このほか、インターネットや



JR東日本サイトの環境活動のページには48万件のアクセスがありました(2006年度)



新幹線車内で配布している情報誌「トランヴェール」にも環境情報を掲載

列車内のポスターなどのメディアを通じて情報発信しています。今後もわかりやすい情報開示と積極的な環境コミュニケーションを推進していきます。

● イベントで情報発信

国内最大級の環境展示会「エコプロダクツ2006」に出展し、JR東日本グループの環境活動を紹介。「発電床」(45ページ参照)のデモ実験、「回生ブレーキ」(47ページ参照)の模型展示などを行い、約2,300名の方に展示に関するクイズにご参加いただきました。

このほか、毎年自治体や企業などと連携して、環境情報の発信を目的としたイベントを共催しています。2007年3月に、東京ガス(株)と「ガス&レールウェイ〜第4回東京ガスとJR東日本の環境への取り組み展〜」を上野駅にて共催しました。国民運動「チーム・マイナス6%」の参加企業として環境にやさしいライフスタイルなどを紹介したほか、環境省・全国地球温暖化防止活動推進センターの協力により、地球温暖化問題への理解を深めていただける展示を行いました。

また、大宮総合車両センターのイベントや仙台駅で環境への取り組みをご紹介したほか、自治体などと連携して、八王子、秋田、茨城、群馬の各地域のイベントにも参加しています。



「発電床」が人気を博した「エコプロダクツ2006」

● エコツーリズムの推進

観光を通じて、日本の自然や文化への理解と愛着を深めていく「エコツーリズム」。JR東日本では、各地のすばらしい自然との関わりをテーマにし、自然を体験するさまざまな旅を提案し、2006年度は約5,300名にご参加いただきました。

日本で初めてユネスコ世界自然遺産として登録された白神山地の魅力を体験できる「会員制倶楽部白神山地ブナの学校」を2006年4月に設立。会員を対象とした首都圏などでの「出前講座」の開催や会員誌の発行を行いました。「白神山地トレッキング」へは年間で約400名の参加がありました。

また、各地の駅を拠点にした「駅からハイキング」も継続して実施し、2006年度は、480回実施、約22万名にご参加いただきました。



「会員制倶楽部白神山地ブナの学校」では、観光と自然保護の両立をめざす白神山地に関する情報を発信



気軽に自然と親しめることが好評の「駅からハイキング」

森づくりを通じた連携

● 鉄道沿線からの森づくり

1992年から「鉄道沿線からの森づくり」として各支社で植樹活動を行い、地域のみなさまにもご参加いただいています。2006年度までに約3.6万人が参加、25万本を植樹しました。

さらに、この植樹活動を自治体などとタイアップ開催、ハイキングイベントと植樹を組み合わせるなど、より多くの方にご参加いただけるよう、支社それぞれがアイデアを凝らしています。例えば大宮支社では川崎市と協力して開催し、子供たちを含む地元のみなさまとともに、植樹を実施しました。



各支社で開催している「鉄道沿線からの森づくり」には2006年度までに3.6万人が参加

● 安達太良ふるさとの森づくり

「安達太良ふるさとの森づくり」は福島県安達太良地域の国有林地で2004年から取り組んでいる植樹活動です。土地本来の木である22種を選定し、まず、3年間かけて安達郡大玉村で4.5万本の苗木を植樹しました。また、第4回目となる2007年からは、同じ安達太良山のふもとの福島県二本松市で17種5万本を3年間かけて植樹していきます。自然に近いかたちで密植・混植し、自然淘汰などを経ながら「ふるさとの森」をつくりあげていく計画です。2007年は、JR東日本グループ社員のほか、地元のみなさまや一般の方など800名の方にご参加いただきました。



地元の福島県二本松市のみなさまにもご協力いただき、今後3年間で5万本を植樹します

● 秋田下浜海岸植樹

JR東日本が保有する秋田市下浜海岸の鉄道林(羽越本線沿線)。クロマツを主体としたこの林が、近年、松食い虫などにより立ち枯れの被害が出ています。

秋田支社では、(財)イオン環境財団と共催で、2007年4月に「秋田下浜海岸植樹」を開催しました。秋田県内の主要駅やイオングループの店頭で募集したボランティアなど1,400名にご参加いただき、広葉樹を主体に9種類の苗を1.2万本植樹しました。鉄道林の再生を通じ、沿線自然環境保全に資する活動として、来年も引き続き開催する計画です。



(財)イオン環境財団と共催した「秋田下浜海岸植樹」1,400人が1.2万本を植樹しました

COLUMN

安達太良の木々は すくすくと育っています

福島県安達郡大玉村では、主にシラカシやウラジロカシなどのカシ類である常緑樹やミズナラやコナラなどのナラ類である落葉樹などを植樹しました。2006年に予定本数を植樹して、大玉村での植樹活動は終了しましたが、この3年間でのべ2,100名の方々にご参加いただき、植樹を通じて命の重要性や尊さ、自然の雄大さを実感していただきました。

植えた直後は膝くらいの高さで弱々しかった苗木も、植樹後3年以上経過すると、人の身長をも越える大きさになりました。また、1年目に植樹したクリの木には実がなるほど成長しており、順調



2004年5月植樹当時

に「ふるさとの森」が育っていることがうかがえます。なお、弊社のホームページにて植樹の様子や成長の様子をお伝えしています。

<http://www.jreast.co.jp/eco/adatara/>



すくすくと育つ現在の様子(2007年6月)